



令和 8 年 度

青森県教育施策の概要

青森県教育委員会

目 次

第 1	青森県教育施策の方針	1
第 2	教育政策・施策体系	2
第 3	教育長メッセージ	3
第 4	令和 8 年度 教育予算の全体像	4
第 5	令和 8 年度 教育予算の概要	5
第 6	令和 8 年度 各課（室）別主要事業の概要	
1	教育政策課	13
2	職員福利課	15
3	学校教育課	16
4	教職員課	22
5	学校施設課	24
6	生涯学習課	27
7	スポーツ健康課	31
8	文化財保護課	35
9	高等学校教育改革推進室	38
【参考】		
	令和 8 年度 学校教育指導の方針と重点	39
	令和 8 年度 社会教育行政の方針と重点	41
	令和 8 年度 体育・健康・スポーツ行政の方針と重点	42
	令和 8 年度 文化財保護行政の方針と重点	43
	令和 8 年度 青森県教育委員会機構図	44

第 1 青森県教育施策の方針

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

平成 26 年 1 月 8 日決定

第2 教育政策・施策体系

1 あおもりの未来をつくる子どもたちのための学校教育改革

- (1) 「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成
- (2) グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進
- (3) 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進
- (4) 多様な教育的ニーズへの対応
- (5) こどもの学びを支える教育環境の整備ときめ細かな指導の充実に向けた人財の確保・育成
- (6) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

2 元気な地域づくり・人づくり

- (1) 地域の強みを生かした地域づくりと人づくり
- (2) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

3 文化・スポーツの振興

- (1) 歴史・文化の価値や魅力に対する理解と活用の促進
- (2) 楽しく体を動かしスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

※ 記述に関する留意事項

青森県では、「人は青森県にとっての「財（たから）」である」ことを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

第3 教育長メッセージ(令和8年度当初予算の編成にあたって)

県教育委員会では、「こどもまんなか青森」～未来を担う子どもたちのために～をめざす教育として様々な取組を進めています。「学校教育改革元年」と位置づけた令和6年度から3年目となる令和8年度においては、めざす教育の実現のため、各事業をさらに充実させるとともに、その取組を加速させていきます。

🍀 子どもたちに身に付けてほしい力

すべての子どもたちには、笑顔で成長し、学びの面白さを知り、そして、予測困難な未来を切り拓く力を身に付けてほしい。そのためには、

1. 「生きる力」(自ら考え判断し、行動するたくましい力)
 2. 「郷土を育てる力」(ふるさと青森を知り、愛着と誇りを持つ力)
 3. 「個性を生かす力」(人を思いやり認めたと上で、自己を肯定し、自身の才能を生かす力)
- の3つの力が必要です。

🍀 教育委員会としてやるべきこと

子どもたちがこれらの力を身に付けられるよう

1. 学びの充実
2. 子どもたちに寄り添う教職員の余白づくり、つまり「働き方改革」の加速化
3. 大人も子どもも青森の良さを知り、誇りに思う機運の醸成に取り組みます。

「県民の宝である子どもたちの幸せは県民の幸せにつながる」という思いで、県教育委員会は、子どもたちのための教育改革と、子どもの学びを県民が一体となって支える社会の実現に向けて、各市町村教育委員会や各学校と一丸となり取組を進めます。

🍀 令和8年度当初予算について

「こどもまんなか青森」という県の重要施策を進めるにあたり、県教育委員会での令和8年度重点取組項目の1つ目は、未来を担う子どもたちの幸せを第一に考え「**子どもたちの生きる力を育む学びの推進**」とします。

2つ目は、教職員がその子どもたちに寄り添い、「生きる力を育む教育」に専念できるよう「**教職員のやりがいを高めるための環境整備**」とします。

3つ目は、県政の課題である若者の県内定着に向けて、学校教育、社会教育の取組として「**ふるさとを愛する心を育む教育の推進**」とします。

令和8年度当初予算 重点項目

1

子どもたちの生きる力を育む学びの推進

教育DX、子どもの意欲や主体性を育む学び、誰もが学べる環境づくり、県立高校の魅力づくり

2

教職員のやりがいを高めるための環境整備

働き方改革の推進、処遇改善、“研究と修養”の全力応援

3

ふるさとを愛する心を育む教育の推進

高校生の県内定着、郷土愛の醸成

第4 令和8年度当初予算の全体像(県教育委員会分)

(1) 当初予算額

- 令和8年度当初予算における県教育委員会関係予算額 **約1,385億9千万円**
- 対前年度比 **約67億7千8百万円増額** (伸び率約+5.1%)

【教育費全体】(単位:百万円)

区分	令和8年度	令和7年度	前年度との比較	
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 (A - B)	伸び率 (%)
教育費 (教育委員会所管分)	138,590	131,812	6,778	5.1

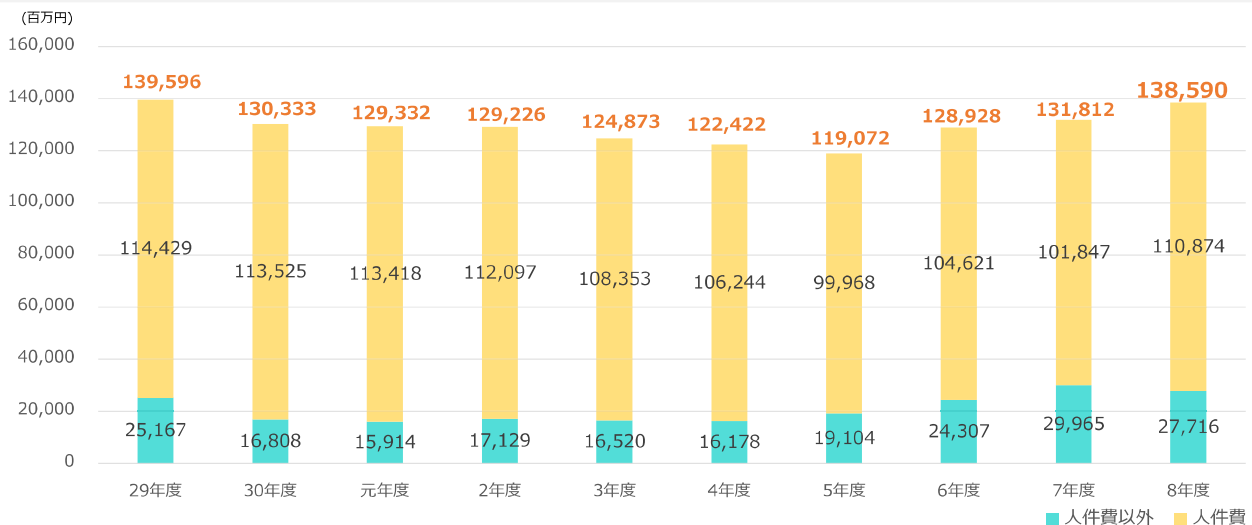
※教育費は県教育委員会所管分であり、知事部局所管分を除く

【増額の主なもの(人件費以外)】(単位:百万円)

事業名	対前年度差額	主な内容・理由
県立高等学校等就学支援金交付金	280	所得制限撤廃による支給対象者の増
奨学のための給付金(公立)	165	給付対象を非課税世帯から低・中所得世帯へ拡充したことによる支給対象者の増
教職員用コンピュータ整備費(高校・特支)	559	県立学校の教職員用コンピュータの更新に係る経費の増
大規模改修(避難所機能強化)(高校・特支)	313	新たに県立学校の避難所機能を強化(空調・Wi-Fiの整備、トイレ改修)するための経費の増

(2) 県教育委員会における当初予算額(性質別)の推移

- 当初予算額における教育費予算はR6から引き続き増額
- うち、学校教育改革関連経費として約37.8億円計上



※人件費以外の予算額は令和7年度国補正分と合算すると34,019百万円となり令和7年度より増額

第5 令和8年度 教育予算の概要

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進

- 教育DXの促進による、こどもの個々の理解度に応じた学びの支援
 - 探究学習等による、こどもの意欲や主体性を育む学びの実現
 - 一人ひとりのニーズに適した学習支援による誰もが学べる環境づくり
 - 高等学校教育を取り巻く環境の変化を踏まえた県立高等学校の魅力づくりの加速化
- 《主要事業》
- 【継】 県立学校次世代校務デジタル化推進事業
 - 【継】 学校DXスタートアップ事業
 - 【継】 県立学校情報教育推進事業(1人1台端末)
 - 【継】 主体的に未来を切り拓く高校生による「あおり創造学」プロジェクト事業
 - 【拡】 特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業
 - 【新】 特別支援教育推進ビジョン検討事業
 - 【新】 夜間中学設置促進事業費補助
 - 【新】 学びの多様化学校設置促進事業費補助
 - 【継】 県立学校施設整備事業
 - 【新】 ミライへつなぐ遠隔教育推進事業(※R6国補正からの継続)
 - 【新】 高等学校教育改革先導校創出事業

③ ふるさとを愛する心を育む教育の推進

- 高校生の県内定着に向けた全ての高校生に対するキャリア支援
 - 若者の県内定着の根底となる、幼少期からの郷土愛の醸成
- 《主要事業》
- 【拡】 高校生のキャリア総合支援プロジェクト事業
 - 【新】 ふるさと青森を愛する人づくり推進事業
 - 【拡】 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業

② 教職員のやりがいを高めるための環境整備

- 学校における教職員の働き方改革の推進を通じた教育の質向上
 - 教職員の処遇改善
 - 教員の“研究と修養”の支援による教職員の専門性向上
- 《主要事業》
- 【拡】 公立学校における教育改革支援事業
 - 【拡】 学校における文化部活動推進事業
 - 【拡】 学校における運動部活動推進事業
 - 【継】 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業
 - 【新】 教員採用試験第一次試験共同実施
 - 【継】 教職員の処遇改善(教職調整額の引き上げ等)
 - 【新】 教職大学院派遣事業

スポーツの振興と文化財の保存・活用

- 国スポに向けた本県選手の競技力向上と県有体育施設の整備
 - 県立郷土館の整備
 - 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上・受入態勢の充実
- 《主要事業》
- 【継】 競技力向上対策特別事業
 - 【新】 スポーツライミング施設整備事業
 - 【新】 県立郷土館基本計画策定事業
 - 【拡】 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念関連事業

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進(1)

1 【継続】 県立学校次世代校務デジタル化推進事業（学校施設課） 253,079千円

[R7 188,084千円]

校務支援システム(クラウド型)の教育データの利活用を推進

- ・ 学習状況・成績・出欠・健康情報などの教育データをダッシュボード機能により活用し、児童生徒の状況をリアルタイムで総合的に把握
- ・ クラウド上で利活用している他のツールのデータを連携させ、多角的な観点で児童生徒の状況を把握し、支援ができるようデジタルツールの利活用を推進

2 【継続】 学校DXスタートアップ事業（学校施設課） 117,102千円

[R7 124,465千円]

県立学校における教育の質の向上と、校務の効率化を一体的に推進

- ・ デジタル教材と自動採点システムを活用
- ・ ICT教育サポーターを配置



3 【継続】 県立学校情報教育推進事業【1人1台端末】(学校施設課) 116,070千円

[R7 87,130千円]

県立高等学校・特別支援学校高等部の1人1台の情報端末を公費負担により計画的に更新

(※公立小中義務教育学校はR6から国基金を活用し更新中)

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進(2)

4 【継続】 主体的に未来を切り拓く高校生による「あおり創造学」プロジェクト事業（学校教育課） 47,514千円

【R7 47,440千円】

青森県の課題や可能性を探究する「あおり創造学」により持続可能な青森県の創造に「挑戦」できる人財を育成

- ・ 地域コンソーシアム等の多様な連携により全ての県立高等学校における「あおり創造学」を推進し、探究的な学びの成果を具体的な提言・提案等に発展
- ・ 取組動画の制作や発表会等により「あおり創造学」の成果を発信するとともに、
地元の小中学校にも直接出向いて活動を紹介し、地域と探究的な学びの循環を創出



5 【拡充】 特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業（学校教育課） 8,213千円

保護者の負担軽減と安全・安心な校内支援体制構築により医療的ケア児の教育の充実を推進

- ・ 指導医による医療的ケア実施校への巡回指導、校内委員会、教員・学校看護師への研修等支援体制を整備
- ・ 円滑かつ持続可能な通学支援体制の構築に向けた医療的ケア児通学支援事業検討会の開催、通学支援連携コーディネーターの配置、
通学支援試行実施の拡充を実施
(令和7年度 6人⇒令和8年度 対象児見込み31人全員)

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進(3)

6 【新規】 特別支援教育推進ビジョン検討事業（学校教育課） 1,216千円

次期実施計画策定に向けた検討会議を設置

- ・ 令和11年度始期の特別支援教育の推進に向けた実施計画を策定するため、有識者を交えた検討会議を設置
- ・ 検討会議からの報告を踏まえ実施計画を策定し、令和9年度に計画案を公表予定

7 【新規】 夜間中学設置促進事業費補助（学校施設課） 31,362千円

本県初の公立の夜間中学の設置(令和9年度)に向けて青森市が行う既存小学校の改修等へ支援

8 【新規】 学びの多様化学校設置促進事業費補助（学校施設課） 20,758千円

学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設置(令和9年度)に向けて市町村が行う既存校舎の改修を支援
(※令和9年度までの設置・開設及び設置に係る施設整備費国庫補助の活用を見込んでいる市町村に対し補助)

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進(4)

9 【継続】 県立学校施設整備事業（学校施設課） **11,580,222千円** 【R8当初 6,485,154千円】
 【R7 11,746,049千円】 【R7.2月補正 5,095,068千円】

こどもたちが安心して学べる安全な学校施設の整備を進め、魅力ある教育環境の構築を目指す

● 老朽化の解消、機能向上等による安全・安心で質の高い施設の整備 10,196,506千円

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ①増改築 設計・工事 県立盲学校等 12校 | ②長寿命化改修 工事 黒石養護学校 1校 |
| ③大規模改修 設計・工事 青森高校等 64校 | |

● 避難所機能の強化 1,383,716千円

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| ①体育館へのエアコン整備 設計・工事 青森高校等 41校 | ②トイレ改修 設計 三本木高校等 5校 |
| ③体育館へのWi-Fi整備 青森高校等 42校 | |

校舎(まなびや)のアップデートプロジェクト (再掲 663,261千円)

次の取組を通じて”まなびや”のアップデートを進める

- ・ 第3次エアコン整備プロジェクト(2/7年目) (612,611千円)
 第1次整備(普通教室)、第2次整備(職員室)に引き続き、特別教室等への整備
- ・ トイレ快適化プロジェクト(1/5年目) (50,650千円)
 トイレの快適性を高めるための洋式化、乾式化等

① こどもたちの生きる力を育む学びの推進(5)

10 【新規】 ミライへつなぐ遠隔教育推進事業(高等学校教育改革推進室) **10,157千円**
 授業支援アプリの導入や外部講師の活用等により、県立高等学校における遠隔教育を推進 【R6国補正 33,397千円】

11 【新規】 高等学校教育改革先導校創出事業（高等学校教育改革推進室） **20,897千円**

いわゆる高校無償化と併せて公立高校等への支援の拡充を図るため、国が示す「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)」に沿った緊要性のある取組等について支援するために国が都道府県に造成する基金を活用し、高校教育改革を先導する拠点(以下「改革先導校」という。)のパイロットケースを創出し、その取組・成果を普及

- 高等学校教育改革先導校創出事業(事務費)
 - ・ 改革先導校の取組を支える体制を構築
 - ・ 事業を円滑に進めるための会計年度任用職員を配置

② 教職員のやりがいを高めるための環境整備(1)

1 【拡充】 公立学校における教育改革支援事業（教育政策課）

339,506千円

- 学校における働き方改革推進のための環境整備支援事業(220,300千円)
 - ・ 学校における働き方改革を推進するために必要な環境整備等を行う市町村を支援(補助率1/2)
- 学校における通話録音・告知機能導入促進事業費補助(84,646千円)【新規】
 - ・ 外部との電話応対における問題防止、正確な情報に基づく問題解決等のため、学校の外線電話への通話録音・通話録音告知機能の導入について市町村を支援し、取組を促進(補助率10/10)
- 学校トラブル解決サポート事業(11,168千円)【新規】
 - ・ 保護者や教職員等の相談に対応し問題の早期解決を図るため、学校問題解決支援コーディネーターを配置
- 伴走型学校経営力強化支援事業(23,392千円)
 - ・ 外部コンサルティングを活用し校内の業務改善を支援

教職員全員で、業務改善のワークショップを実施



【業務改善の例】

- ・ 日課表の見直し（登校時刻にゆとりをもたせる、児童生徒の下校時刻を早める等）
- ・ 教科担任制の導入
- ・ 定期テストや校内模試の精選
- ・ 校内研修の見直し（研究協議の在り方や指導案の簡略化等）

② 教職員のやりがいを高めるための環境整備(2)

2 【拡充】 学校における部活動推進事業（学校教育課・スポーツ健康課）

88,640千円

部活動の技術指導や大会への引率などを行う部活動指導員を配置

令和7年度

運動部 129人

文化部 19人



令和8年度

運動部 157人(+28人)

文化部 29人(+10人)



[R7 40,097千円]

3 【継続】 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業(教職員課)

673,585千円

全ての公立小中義務教育学校、県立学校に教職員の業務を支援するスクールサポートスタッフを配置

[R7 676,706千円]

② 教職員のやりがいをもつための環境整備(3)

4 【新規】 教員採用試験第一次試験共同実施（教職員課）

2,500千円

教員採用候補者選考試験の第一次試験を他自治体と共同実施(共通問題配布方式)

- ・ 令和10年度(令和9年度実施)教員採用候補者選考試験の第一次試験で使用する共通問題を作成

5 【拡充】 教職員の処遇改善（職員福利課）

538,906千円

学びの専門職である教師にふさわしい処遇を実現

- ・ 教職調整額の引上げ (411,940千円)
(R8.4～12月:4%→5%、R9.1～3月:5%→6%)
- ・ 部活動指導手当の引上げ (126,966千円)
 - ア 児童に対する指導業務 日額1,800円→2,600円
 - イ 生徒に対する指導業務 日額2,700円→3,900円

② 教職員のやりがいをもつための環境整備(4)

6 【新規】 教職大学院派遣事業（学校教育課）

8,573千円

教職大学院に挑戦したいと希望する、高い能力と研修意欲がある教職員を支援

- ・ 教員が安心して学べる環境づくりのために、弘前大学教職大学院への教員(1年次及び2年次の各8名)の長期派遣研修に係る授業料(年間535,800円)を支援
- ・ 派遣教員は、県内の教員に向けた研修の講師等を担うことで、大学院修了後に現場で研修成果を還元

③ ふるさを愛する心を育む教育の推進(1)

1 【拡充】 高校生のキャリア総合支援プロジェクト事業（学校教育課）

65,242千円

[R7 62,955千円]

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力を身に付けるため、キャリア教育を推進

- ・ キャリアサポートスタッフを県立高等学校12校に配置し、全ての県立高等学校に対し、進学を希望する生徒を含めた県内定着に向けた取組やキャリア教育を支援
- ・ 各高等学校の代表生徒が一堂に会し、あおもりの未来について協議する「高校生あおもり未来サミット」を新たに開催

2 【新規】 ふるさと青森を愛する人づくり推進事業（生涯学習課）

【R7_国補正】 7,049千円

地域の良さや青森で働く魅力を地域の大人が再発見するワークショップを実施することで、大人の意識変革を促すとともに、こどもたちとの交流会を実施することで、こどもたちのキャリア形成と郷土愛を醸成

- ・ 地域の大人が自分史年表の作成や対話スキルを習得する「かっこいい大人」ワークショップを実施
- ・ ワorkshopを修了した大人とこどもたちが対話する「かっこいい大人」交流会を実施
- ・ 交流会を通じて生まれた気づきやつながりを振り返り、変化や成長を感じられる「青森県の大人はみんなかっこいい」イベントを実施

③ ふるさを愛する心を育む教育の推進(2)

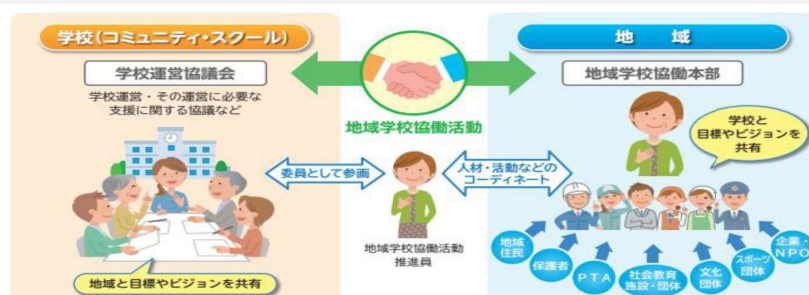
3 【拡充】 CSと地域学校協働活動の一体的推進事業（生涯学習課）

53,599千円

[R7 47,053千円]

学校・家庭・地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進

- CS・地域学校協働活動推進事業(10,172千円)
 - ・ CSと地域学校協働活動の一体的推進に係る研修会の開催や、市町村支援のための統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置、県立学校への地域学校協働活動推進員の配置(3校→8校)等を実施
- 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助(43,427千円)
 - ・ 市町村が行う地域学校協働活動に要する経費を補助



文部科学省ホームページより

スポーツの振興と文化財の保存・活用(1)

1 【継続】 競技力向上対策特別事業（スポーツ健康課）

540,634千円

[R7 664,306千円]

青の煌めきあおもり国スポでの天皇杯・皇后杯獲得に向けた競技団体等が実施する選手強化事業を支援

- ・ 競技団体や強化拠点校・クラブの強化活動費の補助等、選手の発掘・育成・強化の取組を引き続き推進
- ・ 県外で活躍する「ふるさと選手」の活動を支援するほか、有力選手の県内定着に向けた企業雇用の促進及び県対策本部による雇用を実施



2 【新規】 スポーツクライミング施設整備事業（スポーツ健康課）

16,269千円

県営スケート場の解体に伴い、施設内に付帯されているクライミング施設について移設を行う必要があることから、令和10年度に開催予定の東北総合スポーツ大会(スポーツクライミング競技)青森県開催に向け施設の整備を検討

- ・ 整備候補地等の検討を行うための事前調査を実施
- ・ 事前調査に基づいた設計業務を実施



スポーツの振興と文化財の保存・活用(2)

3 【新規】 県立郷土館基本計画策定事業（郷土館）

55,265千円

県立郷土館の整備に向け、基本計画を策定

- ・ 青森県立郷土館整備検討会議からの報告を参考に、県立郷土館の整備に際し、必要となる要件等を整理した県立郷土館基本計画を策定



4 【拡充】 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念関連事業（三内丸山遺跡センター）

107,877千円

令和8年度に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されて5周年を迎えるため、特別展やイベント、セレモニー等を開催するとともに、新たにインバウンド対策を実施

- ・ 春季と夏季の2部構成による特別展、音楽イベント、縄文くらし体験イベント、商業施設における記念催事、4道県による記念セレモニー等を開催
- ・ インバウンド対策として、青森の縄文遺跡群視察ツアー、国外プロモーション、三内丸山遺跡の受入体制整備を実施



令和7年度2月補正予算(国補正分)の概要

- 2月補正予算(国補正分) 予算額 6,303百万円
- 令和7年11月21日に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策」に呼応し、2月補正予算に計上した主な事業は以下のとおり。

○ 県立高等学校DX加速化推進事業(57,000千円)

県立高等学校等においてICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化するために必要な環境整備を実施

○ 農業教育環境整備事業 (49,592千円)

農業高校等においてスマート農業等の教育の高度化に必要な農業用機械・設備を導入

○ 県立学校施設整備事業 (5,095,068千円)

児童生徒が安心して学べる安全な学校施設の整備を進め、魅力ある教育環境の構築を目指すため、国補正予算も活用しながら令和8年度当初予算と一体で県立学校の施設整備を推進

○ 記録で紡ぐ！無形民俗文化財継承推進事業(47,718千円)

無形民俗文化財の継承手段として活用できるよう、動画による「誰でもできる記録作成マニュアル」を制作・発信するとともに、県民が民俗芸能に幅広く触れるための大会を開催し、テレビ等で情報発信

○ 高等学校等教育改革促進基金積立金(60,000千円)

県立高等学校等における教育改革の促進に係る事業を実施するための基金を造成

第6 令和8年度 各課（室）別主要事業の概要

1 教育政策課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
1 教育調査統計の実施	千円 264	<p>国の統計調査及び本県教育の振興を図るための県単独の調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の統計調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校基本調査」に係る審査・集計 ・地方教育費調査 ・県単独の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校等卒業者の進路状況調査 ・高等学校等卒業者の進路状況調査 ・中学校等卒業予定者の進路志望状況調査
2 教育施策の企画調整	801	<p>新たな教育課題への迅速かつ的確な対応を図るため、教育施策の企画調整等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策企画調整（教育施策立案のため、教育現場の現状と課題を把握し、新たな教育課題等を検討する。） ・教育施策の概要の作成 ・市町村教育委員会教育長会議、県立学校長会議の開催 ・教育委員会の事務の点検・評価の実施
3 広報・広聴活動の推進	10,460	<p>教育施策等について正しい理解と協力が得られるよう、効果的な広報・広聴活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県教育委員会情報発信事業（公式 SNS の運用及びデジタル広報紙の発行） ・リーフレット青森県の教育（年1回発行）

教育政策課（その2）

事業名	予算額	事業の概要
4 公立学校における教育改革支援事業	千円 339,506	<p>市町村及び学校の自発的・主体的な教育改革の推進、教職員の心理的負担軽減のため、市町村立学校の働き方改革を進めるための環境整備及び外線電話への通話録音・告知機能導入に必要な経費を支援するほか、保護者や教職員等の相談に対応し問題の早期解決を図る学校問題解決支援コーディネーターを配置するとともに、学校経営力の強化に向けた外部コンサルタントによる伴走型支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における働き方改革推進のための環境整備支援事業 220,300 千円 補助金交付先 市町村 補助率 1 / 2 (上限: 2,500 千円～15,000 千円) ・学校における通話録音・告知機能導入促進事業費補助【新規】 84,646 千円 補助金交付先 市町村 補助率 10 / 10 (上限: 1校当たり 237,720 円) ・学校トラブル解決サポート事業【新規】 11,168 千円 ・伴走型学校経営力強化支援事業 23,392 千円
5 学校等における法務相談体制整備事業	1,617	<p>深刻な児童生徒間トラブルや外部からの過剰な要求等に対応する教職員の負担軽減を図るとともに、児童生徒にとって最適な教育環境を維持するため、スクールロイヤーを配置する。</p>

2 職員福利課

事業名	当初予算額	事業の概要
1 教職員の処遇改善	千円 538,906	<p>学びの専門職である教師にふさわしい処遇の実現のため、教職調整額等の引上げを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職調整額の引上げ (411,940 千円) (R8.4~12月:4%→5%、R9.1~3月:5%→6%) ・ 部活動指導手当の引上げ (126,966 千円) <ul style="list-style-type: none"> ア 児童に対する指導業務 日額1,800円→2,600円 イ 生徒に対する指導業務 日額2,700円→3,900円
2 電子決裁機能付き文書管理システムの維持管理費	33,292	公文書のペーパーレス化及び検索機能の拡充等を図るため、電子決裁機能付き文書管理システムの維持管理を行う。
3 給与管理業務DX推進事業【新規】	6,084	小中学校の給与管理業務の効率化を図るため、県が令和11年度に導入予定の統合総務事務システムを利用するためのネットワーク環境構築(基本計画の作成)を行う。
4 教職員の健康管理の充実	10,667	<p>教職員のがんの早期発見と早期治療に役立てるため、がん検診を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳がん検診 40歳以上の女性教職員 1,400人 ・ 子宮がん検診 女性教職員 00 1,800人 ・ 大腸がん検診 40歳以上の教職員 250人

3 学校教育課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
1 授業の充実	千円 147,984	
(1) 小・中学校教科充実支援事業	2,003	小・中学校における外国語教育の充実及び本県外国語担当教員等の英語力向上を図るための支援訪問等や全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた各教科の授業改善に係る研究協議会を行う。
(2) AOMORI 多文化共生推進事業	5,091	外国につながりがあるこどもの日本語指導体制の確保・充実のため、県内関係機関と連携し日本語支援プログラムを実施する。
(3) スーパーサイエンスハイスクール支援事業	9,658	科学技術や理科・数学に関する教育を重点的に行い、カリキュラム開発等を行う指定校の事務負担軽減及び教育充実のため、事務支援員及びコーディネーターを配置する。
(4) 県立高等学校DX加速化推進事業 【国補正】	57,000	ICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する取組を進めるために必要となる環境（ICT機器等）を県立高等学校等に整備する。
(5) 生成AI利活用モデル事業【国補正】	2,217	学校現場における生成AIの適切な利活用を実現するパイロット校を指定し、成果・課題の検証、事例の創出・普及を行う。
(6) エネルギーに関する教育支援事業	4,809	児童生徒がエネルギーに関する理解を深め、自ら考え判断する力を身に付けることをねらいとした体験的な学習を推進するための市町村及び県立学校の教育活動等に要する経費を助成する。
(7) 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業 (特別支援学校)	64,379	教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員の事務的補助を行うスクールサポートスタッフを配置する。配置に当たっては、障がい者を雇用することとし、県教育委員会における障がい者雇用を推進する。
(8) 高等学校定時制・通信制教科書学習書給与事業	1,051	勤労青少年の高等学校定時制・通信制課程への就学を促進し、教育の機会均等を保障することを目的に同課程に在学する有職生徒の教材費負担軽減措置として、教科書及び学習書を給与する。
(9) 青森県立高等学校入学者選抜研究協議会設置事業【新規】	1,776	高等学校入学者選抜を改善するため、時代に即した入学者選抜の在り方・方法について研究協議を行う研究協議会を設置する。

学校教育課（その2）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
2 道徳教育の充実 (道徳教育推進事業)	1,846	道徳教育の質の向上と充実を図るため、教員を対象とした研究協議会を開催するとともに、学校・地域の実情に応じた道徳教育に関する多様な取組を実施し、成果を普及する。
3 特別活動の充実	53,079	
(1) 中・高等学校文化 連盟支援事業	5,429	中学校・高等学校における文化活動を支援するため、県中学校総合文化祭や県高等学校総合文化祭の開催経費及び県高等学校文化連盟が行う全国・東北大会への生徒派遣費の一部を助成する。
(2) 学校における文化 部活動推進事業	47,650	適切な文化部活動の実現及び教職員の文化部活動指導の負担軽減を図るため、市町村立中学校及び県立学校に文化部活動指導員を配置するとともに、地域展開に取り組む市町村を支援する。
4 生徒指導の充実	226,381	
(1) 学校の教育相談体 制充実を支援する外 部専門家活用事業	169,813	児童生徒のいじめ、不登校やこどもの貧困問題等の諸課題への対応に係る学校の教育相談体制を支援し解決を図るため、小・中・高等学校等へスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。
(2) 24時間いじめ等 電話相談事業	10,318	いじめ・不登校などの様々な課題を抱える児童生徒・保護者を支援するため、夜間・休日を含む24時間対応可能な相談体制を整備するとともに、生徒指導担当者による会議を開催する。
(3) 安心できる学校づ くり推進事業	2,667	いじめ防止等のため、いじめの早期発見・対応に向けた連絡協議会及び教職員向けの研修会並びに審議会を開催するとともに、「こころの緊急支援活動チーム」や県立学校に外部専門員や学校関係者による組織を設置する。
(4) ソーシャルメディ ア等監視員配置事業	4,279	関係機関等と連携してSNSなどインターネット上のいじめ等に関する事案を早期発見するため、ソーシャルメディア等監視員を配置する。
(5) 適応指導	11,715	小・中・県立学校の不登校児童生徒の自立心を育み学校へ復帰できるよう適応指導を行う。(総合学校教育センター)

学校教育課（その3）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(6) 不登校児童生徒支援事業	27,589	不登校の未然防止等のため、関係機関や民間団体等による協議会及び関係機関との連携強化や教員に対する研修を実施するとともに、不登校支援コーディネーターを配置する。さらに、公立小・中学校の校内教育支援センター設置を促進するため、支援員の配置や必要となる物品の整備を支援する。
5 キャリア教育の推進	136,293	
(1) 医師を志す高校生支援事業	15,579	医学部医学科への入学者の増加を図るため、県内3つの拠点校が中心となり、医学科進学を目指す高校生の実力養成と教員の指導力向上等を図るための学習プログラム等を実施する。
(2) 新しい時代を切り拓く力を育む高校支援事業	5,718	本県の大学進学率を向上させるため、探究学習や教科横断的な学習を通じて、県立高校における生徒の進学力と教員の進学指導力の向上や保護者の意識啓発を図る取組を実施する。
(3) 県立学校就職促進関連事業	1,214	新規高等学校卒業者の就職促進に資するため、高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校産業現場等における実習促進のため事業所等の打合わせや巡回指導等を実施する。
(4) 高校生のキャリア総合支援プロジェクト事業	65,242	県内就職率の向上を図るため、県内就職に関する情報提供やキャリア教育を支援するサポートスタッフを配置するとともに、キャリア形成講座や研修会、介護員養成講習会、高校生あおもり未来サミットの開催、先進技能習得に係る教員研修の支援を行う。
(5) 主体的に未来を切り拓く高校生による「あおもり創造学」プロジェクト事業	47,514	ふるさとあおもりを誇りに思い、新たな未来を切り拓く挑戦をしていく人財を育成するため、全ての県立高校において、地域の関係機関と連携しながら青森県の課題や可能性を主体的に探究する「あおもり創造学」に取り組むとともに、その成果を公立小・中学校や地域に発信する。
(6) 農業教育高度化事業	1,026	農業高校における農業教育の高度化を図るため、指導者や生徒等を対象とした研修の開催や学校が作成する「農業教育高度化プラン」の実現に向けた取組等を支援する。

学校教育課（その４）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
6 特別支援教育の充実	418,572	
(1) 特別支援学校における医療的ケア実施体制整備事業	8,213	特別支援学校における医療的ケア児に対する支援体制を充実させるため、指導医による巡回相談、校内委員会、教員・学校看護師への研修等を実施するとともに、通学支援体制構築に向け検討会開催、コーディネーター配置、通学支援試行実施の拡充を行う。
(2) チームで支える特別支援教育校内支援体制充実事業	1,966	小・中学校及び高等学校の通常の学級に在籍する、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた学びを支援するため、地域の外部専門家の活用及び通級による指導を担当する教員の専門性向上に取り組む。
(3) 特別支援学校技能検定事業	4,226	特別支援学校高等部生徒の社会的・職業的自立を促進するため、青森県版「特別支援学校技能検定」の充実を図るとともに、「青森県特別支援学校技能検定・発表会」を実施する。
(4) 特別支援学校就学奨励事業	246,796	特別支援教育の普及奨励を図るため、特別支援学校の幼児、児童及び生徒に対し、就学に必要な学用品費等を助成する。
(5) 特別支援学校スクールバス借り上げ事業	135,131	特別支援学校のスクールバスに乗車する児童生徒数の増加に対応するため、借り上げによりスクールバスの増台を行う。
(6) 特別支援学校スクールバス介助職員増員事業【新規】	6,446	特別支援学校のスクールバスに添乗する教員の業務負担について検証するため、特別支援学校のスクールバス介助職員を増員配置する。
(7) 特別支援学校における「好き」を見つける学びの充実支援事業	4,314	特別支援学校で学ぶ全ての児童生徒の自立と社会参加を促すため、地域との連携により、児童生徒一人一人の障がいの状態に応じ、文化芸術・スポーツ・社会体験といった体験活動や、地域課題の解決に向けた探究的な学習活動を実施する。
(8) 特別支援教育推進ビジョン検討事業【新規】	1,216	特別支援教育の推進に向けた次期実施計画の策定に向けた検討を行うため、有識者を交えた検討会議を設置する。

学校教育課（その5）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(9) 特別支援教育相談事業	10,264	障がい児や児童生徒に関わる諸問題解決のため、普及・啓発や特別支援教育に係る教育相談を行う。（総合学校教育センター）
7 国際化に対応する教育の推進	187,246	
(1) 青森の新たな未来を切り拓くグローバル人財育成事業	21,518	グローバル社会に対応し、世界を相手に活躍できる人財を育成するため、シンガポールの学校等におけるフィールドワークや本県の高校生と台湾の高校生の相互交流による主体的で実践的な協働学習を実施する。
(2) 外国語指導助手配置事業	151,693	生徒の語学力の向上を図るとともに、外国語担当教員の指導力の向上を図るため、県立学校、学校教育課及び総合学校教育センターに語学指導等を行う外国青年を配置する。
(3) 高校生国際交流推進事業	7,060	本県の高校生等の異文化理解を深め、諸外国との相互理解等の推進を図るため、留学に要する経費の支援に取り組むとともに、済州国際青少年フォーラムに生徒を派遣する。
(4) 国際バカロレア教育推進事業	6,975	国際バカロレア（IB）教育を推進するため、IB認定校である青森南高等学校でIBの理念を取り入れた授業等を行うとともに、その指導方法や教育効果を県全体に普及する。
8 情報化に対応する教育の推進	47,724	
(1) WEB出願等による高等学校等入学者選抜改善事業	29,585	生徒・保護者の利便性向上と教職員の事務負担の軽減を図るため、県立学校の入学者選抜に導入するWEB出願システムを運用する。
(2) 授業目的公衆送信補償金	9,628	県立学校の授業等で円滑に著作物を公衆送信できるよう、著作権法に基づき補償金を指定団体に支払う。
(3) 教育情報提供事業	8,511	学校教育における情報化の推進に資するため、児童生徒及び教職員に対して教育素材、学習素材等教育情報をインターネットにより提供する。（総合学校教育センター）

学校教育課（その6）

事業名	予算額	事業の概要
9 研修の充実	千円 47,082	
(1) 教職員資質向上関係経費	22,114	教員の指導力等のより一層の向上を図るため、初任者研修、教育課程研究集会、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修の実施や文部科学省主催研修への派遣を行うとともに、教員の研修履歴の記録及び記録に基づく指導・助言を行う。
(2) 幼児教育の質的向上強化事業	3,683	幼児教育の質的向上を図るため、幼児教育推進体制の在り方について研究を行うとともに、幼保小連携の推進に向けた「幼保小の架け橋プログラム」の実践等を行う。
(3) 教職大学院派遣事業【新規】	8,573	教育実践力を身に付けたミドルリーダーの育成を図るため、公立学校に勤務する教員の弘前大学教職大学院への派遣に係る授業料を全額支援する。
(4) 研修講座	12,712	<p>教職員の資質向上を図るため、各学校種別及び教科別等の研修を合計110講座実施する。（総合学校教育センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務研修講座 17講座 964千円 ・事務職員研修講座 3講座 52千円 ・小学校研修講座 15講座 4,769千円 ・中学校研修講座 18講座 1,393千円 ・高等学校研修講座 22講座 1,996千円 ・産業教育研修講座 16講座 1,536千円 ・特別支援教育研修講座 11講座 966千円 ・教育相談研修講座 8講座 1,036千円

4 教職員課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
1 あおもりっ子育みプラン21事業	1,163,384	子どもたち一人一人を大切に一人一人が輝く教育を推進し、きめ細やかな学習指導や生活指導を行うため、小学校及び中学校の全学年において、学年2学級以上で33人学級編制を実施する。なお、小学校の学年1学級は、学級を分割せず非常勤講師を配置する。 また、小学校の複式学級において、人数の多い学級に非常勤講師を配置する。
2 外部人材活用による教科指導等充実事業	26,246	学力向上を図るための教科指導の充実や教育課題に対応し、教員が子どもたち一人一人に向き合う環境づくりを行うため、中学校に非常勤講師を配置する。 ・令和7年度15校(4学級以下の中学校を有する市町村) → 令和8年度16校(4学級以下の中学校を有する市町村)
3 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業(小・中学校、高等学校)	609,206	教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員の事務的補助を行うスクールサポートスタッフを全ての公立小中義務教育学校及び県立高等学校に通年で1校に1人配置する。 ・令和7年度 小・中学校387校、高等学校46校 → 令和8年度 小・中学校384校、高等学校46校
4 「あおもりで働こう」教員魅力向上事業	9,254	教員の志望者の増加を図るため、高校生による教員の魅力一日体験を県内6地区で実施するとともに、大学生や高校生に向けてPR活動等を行う。また、臨時講師採用に向けた研修会等を開催する。
5 学校図書館活動支援事業	7,287	学校図書館の運営の改善及び機能向上により、授業等での積極的な活用を促進するため、県立高等学校に学校図書館サポーターを配置する。 ・配置人数 県立高校6人
6 スクールライフサポーター配置事業	10,529	県立高等学校において、教諭等と連携しながら特別な支援を要する生徒に対する授業補助や学校生活支援、社会性向上支援等を行うスクールライフサポーターを配置する。 ・令和7年度 4時間/1日×2人×3校 → 令和8年度 4時間/1日×2人×3校 6時間/1日×1人×1校 計4校

教職員課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要
7 高等学校定時制・通信制課程修学奨励金貸与事業	千円 3,552	働きながら高等学校の定時制課程及び通信制課程に在学する者に対し修学奨励金を貸与し、修学条件の改善を図る。 ・対象者 高校定通課程在学者 経常的所得を得る職業についている者 一定の所得以下の者 ・貸与額 全学年 月額 14,000 円+交通費相当額（月額 4,000 円を上限）
8 高校奨学金貸与事業費補助	28,340	公益財団法人青森県育英奨学会が実施する高校奨学金貸与事業に要する経費を補助する。
9 教員採用試験の第一次試験共同実施	2,500	令和10年度（令和9年度実施）教員採用候補者選考試験の第一次試験で使用する共通問題を作成する。

5 学校施設課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
1 県立学校施設の整備	千円 11,580,222	
(1) 老朽化の解消、機能向上等による安全・安心で質の高い施設の整備	10,196,506 (うち当初予算分 5,101,438) (うち国補正分 5,095,068)	<p>県立学校施設の老朽化の解消等による安全・安心の確保への対応として、校舎等増改築、長寿命化対策、大規模改修等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎等建築 4,841,201 千円 (継続) 五所川原農林高校 [寄宿舎建築]、 県立盲学校・青森聾学校 [校舎建築]、 七戸養護学校 [校舎増築] (新規) 五所川原農林高校 [実習棟建築] 三本木農業恵拓高校 [寄宿舎建築] (うち国補正分 2,815,925 千円) ・長寿命化・重点改良事業費 1,219,708 千円 (継続) 黒石養護学校 [校舎等改修] (うち国補正分 830,449 千円) ・調査設計 559,629 千円 (継続) 八戸東高校、八戸西高校、八戸工業高校、 (仮称) 下北地区統合校 [設計] ・県立学校大規模改修 3,575,968 千円 (継続) 高校 23 校、特別支援学校 5 校 (新規) 高校 20 校、特別支援学校 13 校 (うち国補正分 1,448,694 千円)
(2) 避難所機能の強化	1,383,716	<p>県立学校施設の避難所としての機能を強化するため、体育館への空調設備、Wi-Fi 設備の整備及び校舎内のトイレ改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校大規模改修 (避難所) 1,383,716 千円 (新規) 高校 38 校、特別支援学校 4 校
2 県立学校設備の整備	3,307,278 (うち当初予算分 2,365,557) (うち国補正分 941,721)	<p>県立学校の実習設備や教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業教育設備整備費 238,649 千円 (継続) 特別装置 (継続) 情報処理教育設備 ・教育用コンピュータ整備費 67,513 千円 (継続) 県立高校 24 校・特別支援学校 20 校

学校施設課（その2）

事業名	予算額	事業の概要
<p>3 県立高等学校等就学 支援金</p>	<p>千円 2,258,170</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育等設備整備費 9,123 千円 ・農業教育環境整備事業費【国補正】 49,592 千円 ・公立学校情報機器整備事業費 2,942,401 千円 (うち国補正分 892,129 千円) <p>家庭の教育費負担を軽減するため、県立高校等の生徒に対し、授業料に充てるための支援金を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象 全日制・定時制・通信制・専攻科 ・支給単価 全日制・専攻科（多子世帯・住民税非課税世帯） 月額 9,900 円 専攻科（住民税非課税世帯に準ずる世帯） 月額 4,950 円 定時制 月額 2,700 円 通信制 1 単位 310 円
<p>4 奨学のための給付金 事業</p>	<p>694,719</p>	<p>中低所得世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、県立高校等の生徒の保護者等に対し、奨学のための給付金を給付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付対象 年収 270 万円未満～490 万円程度の世帯 ・給付額 <ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給世帯 32,300 円 (専攻科 50,500 円) 年収 270 万円未満程度の世帯 143,700 円 (通信制・専攻科 50,500 円) 年収 270 万円～380 万円程度の世帯 47,900 円 (通信制・専攻科 16,830 円) 年収 380 万円～490 万円程度の世帯 35,930 円 (通信制 12,630 円) ※専攻科のみ 年収 380 万円～600 万円程度の多子世帯 12,630 円

学校施設課（その3）

事業名	予算額	事業の概要
5 教育の情報化に向けた環境整備	千円 515,676	
(1) 学校DXスタートアップ事業	117,102	県立学校における教育の質の向上と、校務の効率化を一体的に推進するため、デジタル教材と自動採点システムを活用するとともに、ICT教育サポーターを配置する。
(2) 県立学校次世代校務デジタル化推進事業	253,079	児童生徒・保護者・学校が一体となった教育活動を展開し、教育の質の向上を図るため、校務支援システム(クラウド型)の「教育ダッシュボード」機能により教育データを活用するとともに、他のツールのデータを連携させ、デジタルツールの利活用を推進する。
(3) 校内ネットワーク再構築事業 【国補正】	78,597	学習活動における同時・多数・高頻度での端末活用に対応可能な学校通信ネットワークの改善を図るため、校内通信ネットワークの改善及びアクセスポイントの増設等を実施する。
(4) 県立学校情報通信技術支援事業	11,616	県立学校のICT担当教員の負担軽減やICT機器を活用した授業の充実を図るため、ヘルプデスクを設置して、ICT機器活用時のトラブル等への対応や管理ツール等の運用を支援する。
(5) 教育行政の情報化の推進	55,282	教育行政における情報処理と事務処理の合理化・効率化を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育行政情報システムの開発・運用・保守 ・情報システムの運用・保守 ・全庁LAN運用

6 生涯学習課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
1 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	323,348	
(1) CSと地域学校協働活動の一体的推進事業【新規】	53,599	<p>コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図り、地域全体で子どもたちの成長を支えていく体制を整備するため、学校と地域との効果的な連携の在り方等を学ぶ研修会、市町村担当者を対象とした相談対応等による地域学校協働活動支援、県立学校への地域学校協働活動推進員の配置を行うほか、市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費に対し、県が補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CS・地域学校協働活動推進事業 10,172千円 ・学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 43,427千円
(2) 県立学校におけるコミュニティ・スクール導入・運営事業	8,145	<p>県立高等学校28校と特別支援学校全校において、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指し、学校運営協議会の運営と連絡会議及び研修会の開催を行う。</p>
(3) 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（キャリア教育の推進）	1,386	<p>学校におけるキャリア教育のより効果的な実施に向け、地元企業等と学校のネットワーク会議や教育支援活動協力企業等の新規開拓及び登録企業の周知、キャリア教育推進のためのコーディネート業務を行う。</p>
(4) いじめ防止キャンペーン推進事業	6,299	<p>いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止標語を募集し、その優秀作品を主題とした動画をWeb広告で配信することにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う。</p>
(5) キャリア形成支援講座～大学生と青森の未来・自分の未来を“カタル”～	1,758	<p>ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる若者を育成するため、研修によって、一定のスキルを身につけた大学生が中学生・高校生とともに生涯にわたる「自分の生き方」について語り合うワークショップを開催する。 (総合社会教育センター)</p>
(6) 高校生スキルアッププログラム推進事業	321	<p>高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るため、学校外学修の単位認定など活動の支援を行う。 (総合社会教育センター)</p>

生涯学習課（その2）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(7) 地域と学校をつなぐキャリア教育推進事業	1,249	地域におけるキャリア教育支援の仕組みづくりを推進するため、関係者の一層の理解を促す研修会を行うとともに、「我が社は学校教育サポーター」の管理・運営及び普及啓発を行う。 (総合社会教育センター)
(8) こどもの読書活動推進事業	3,113	「青森県こども読書活動推進計画（第五次）」に基づき、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、「こどもの読書活動推進大会」を開催するほか、啓発小冊子の活用による乳幼児から小学生までの読書活動の推進等に取り組む。
(9) あおもり家庭教育支援総合事業	2,514	全ての親が安心して家庭教育を行うことができるようにするため、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行うとともに、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるフォーラムの開催、家庭教育支援に関わる人のネットワークづくり等を行う。
(10) 家庭教育支援者養成事業	1,084	地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催し、子育てを応援する人材を育成・活用する。（総合社会教育センター）
(11) 家庭教育支援普及啓発事業	4,055	家庭での教育力を高め、こどもの健やかな成長を支援するため、親子の学び応援フェアを開催するとともに、県の家庭教育支援に関する取組について広く普及啓発する。（総合社会教育センター）
(12) 少年自然の家運営管理事業	239,825	青少年の自主性、社会性を涵養し、自己の形成を図るため、青少年教育施設において実践的・体験的な活動を行う。 (梵珠少年自然の家・種差少年自然の家)
2 地域の強みを生かした地域づくりを担う人材の育成	3,279	
(1) 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（社会教育主事の資質・能力向上）	376	社会教育主事の資質・能力向上を図るため、市町村の社会教育主事等が中心となり、首長部局、企業・地域づくり団体等と連携・協働し、地域課題解決等に関する事業を企画・実践する。

生涯学習課（その3）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(2) 若者の社会参加促進事業	695	若者の社会参加を促進するため、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の自立を支援する体験活動を実施する。
(3) 地域活動講座～パワフル A O M O R I ! 創造塾～	885	持続可能な地域活動を支える人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、活力ある持続可能な地域づくりに係る講義・演習等を行う。（総合社会教育センター）
(4) 高校生地域活動講座～チャレンジ A O M O R I ! 未来塾～	1,323	主体的に活動する次世代を担う青少年の育成を目的として、高校生を対象に地域活動を支える地域の人財等から、地域の価値や魅力、活力ある地域づくり等について学ぶ研修を行う。（総合社会教育センター）
3 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進	32,453	
(1) ふるさと青森を愛する人づくり推進事業【国補正】	7,049	大人の意識変革を促すとともに、こどもたちのキャリア形成と郷土愛の醸成を図るため、地域の良さと青森で働く魅力を地域の大人が再発見するワークショップや、こどもたちとの交流会を実施する。
(2) 特別支援学校における障がいに関する理解促進事業	1,458	県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を持つ父母等や県民を対象に、障がいに関する理解促進を図るための公開講座を行う。
(3) 障がい者の生涯学習支援事業	1,134	障がいのある青年の地域社会における自立と社会参加を支援するとともに、地域住民との交流の機会とするため、県立特別支援学校において、社会参加活動やスポーツ体験活動を実施する。
(4) 共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業【新規】	7,000	障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の実現に向けた社会全体の理解を促進するとともに、持続可能な学びの仕組みづくりを推進するため、関係機関の連携体制を構築するほか、研修や交流会を開催する。
(5) 学習情報の収集・提供事業	11,581	県民の生涯学習活動を促進するため、必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べる eラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する。（総合社会教育センター）

生涯学習課（その４）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習情報の収集・提供事業 10,946 千円 ・視聴覚ライブラリー運営事業 635 千円
(6) 近代文学館特別展 ・企画展開催事業	2,563	<p>青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展や企画展を開催する。（県立図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展開催事業 1,799 千円 ・企画展開催事業 764 千円
(7) 読書バリアフリー 推進事業	1,668	<p>視覚障がい者等の利用者が、より図書館を利用しやすいようにするため、各種資料及び機器を整備、更新するとともに、障がい者配本サービス（アウトリーチサービス）を行う。（県立図書館）</p>
4 社会教育推進のための 基盤整備	206,513	
(1) 生涯学習推進基盤 整備事業	1,084	<p>生涯学習振興法に基づき、本県の生涯学習に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について、調査審議する生涯学習審議会等を運営する。</p>
(2) 青森県社会教育委員 の運営	248	<p>社会教育法に基づき、本県社会教育について調査研究等を行う社会教育委員の会議を運営する。</p>
(3) 社会教育主事有資格者 育成派遣事業	643	<p>社会教育主事の有資格者を育成し、今後の社会教育指導体制を充実させるため、指導主事や学校教員等を社会教育主事講習に派遣する。</p>
(4) 生涯学習・社会教育 関係職員研修講座	1,257	<p>生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図るため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修及び地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を行う。（総合社会教育センター）</p>
(5) 県立図書館資料 整備	67,031	<p>県民の生涯学習の場として、また、県内の図書館のセンターとして充実した図書館サービスを提供するため、県民に必要な資料を整備する。（県立図書館）</p>
(6) 総合社会教育セン ター運営管理事業	135,970	<p>総合社会教育センターにおいて、一部業務について指定管理者による運営・管理を行う。</p>

7 スポーツ健康課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
1 学校体育・スポーツの充実	344,752	
(1) 学校体育関係事業	1,775	教員の指導力向上を図るため、授業等における指導法の講習会を実施するとともに、児童生徒の発達段階を踏まえた体力向上の実践的な指導の充実に向けた教員対象の研修会等を実施する。
(2) 全国大会派遣費補助(高等学校・中学校)	13,220	高等学校及び中学校の体育・スポーツの振興を図るため、全国大会への選手・役員の派遣費に対し補助する。 補助金交付先 青森県高等学校体育連盟及び青森県中学校体育連盟
(3) 学校における運動部活動推進事業	40,990	運動部活動の指導体制の充実及び質的向上を図るため、運動部活動指導者を対象とした研修会を開催するとともに、市町村立中学校及び県立学校に部活動指導員を配置する。
(4) 地域スポーツクラブ活動体制推進事業	288,767	休日に加え、平日の公立中学校における部活動の地域展開を推進するため、指導者の人材バンクの運用を行うとともに、県立中学校において部活動の地域展開に向けた実証を行うほか、市町村が行う地域展開体制の構築を支援する。
2 健康教育の充実	466,421	
(1) 学校医等の配置	87,164	県立学校の保健管理の充実を図るため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び産業医を配置する。
(2) 定期健康診断費	101,953	県立学校教職員及び児童生徒の健康管理の適正を期するため、定期健康診断を実施する。
(3) ストレスチェック実施経費	4,156	県立学校教職員のメンタルヘルス対策に資するため、ストレスチェックを実施する。
(4) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付	123,951	県立学校児童生徒の学校管理下における災害に対し、災害共済給付金を給付する。 ・共済掛金 45,143 千円 ・災害共済給付金 78,808 千円

スポーツ健康課（その2）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(5) 県立学校における 防災教育推進事業	6,689	安全で安心な社会づくり（共助・公助）に貢献できる資質・能力の育成と、危機管理マニュアル・防災訓練の見直し等による防災体制の強化を図るため、県立学校において、実践的な防災教育に取り組む。
(6) 学校安全総合支援 事業	5,623	学校種・地域の特性に応じた地域全体の学校安全推進体制の構築を図るため、モデル地域において実践研究を行う。
(7) 学校安全関係事業	4,801	学校における交通安全教育を推進するための交通安全プロモーション事業、県立学校への自動体外式除細動器(AED)の整備、県立学校における教職員の危機管理能力向上のための教職員研修を行う。
(8) 労働安全衛生関係 事業	1,035	労働安全衛生法等の法令に基づき、県立学校教職員が実習等に関連する必要な資格の取得や特別教育の受講等を行う。
(9) 養護教諭研修（新規 採用研修、中堅教諭等 資質向上研修）	4,739	養護教諭の資質向上を図ることを目的として、新規採用養護教諭、採用5～7年目の職員及び採用12～15年目の職員に対して研修を実施する。
(10) いきいき青森っ子健 康づくり事業	1,684	健康教育実践研究校の指定により、本県における健康教育の在り方、進め方の協議及び健康課題解決のための具体的な指導内容、指導方法について研究等を行う。
(11) 県民の未来の健康 基盤づくり事業	2,834	児童生徒の日常的な運動習慣の確立と、体育や食育、健康教育を担当する教員の指導力向上を図るため、児童生徒及びその保護者の生活習慣の実態調査結果を基に、肥満傾向児出現率の改善に向けた取組を推進するとともに、教員を対象とした体育・食育の楽しさアップ研修会を開催する。
(12) 学校給食衛生管理 事業	8,534	学校給食による食中毒を未然に防止するため、食材の定期点検、ねずみ・ゴキブリの定期駆除、保存食採取のための食材及びビニール袋等の購入等を行う。
(13) 県立学校給食設備 整備事業	18,014	衛生管理の徹底を図るため、県立学校の給食設備・食器具の整備を行う。
(14) 県立学校給食委託 事業	58,515	特別支援学校の給食について、近隣の市町村立の学校給食施設に委託し、学校給食を実施する。

スポーツ健康課（その3）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(15) 県立学校給食費無償化事業	35,128	県立中学校及び県立特別支援学校（小・中学部）における給食費無償化に要する経費を負担する。
(16) 栄養教諭・学校栄養職員研修（新規採用研修、中堅教諭等資質向上研修）	1,601	栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図ることを目的として、新規採用栄養教諭・学校栄養職員、採用5～7年目の職員及び採用12～15年目の職員に対して研修を実施する。
3 スポーツの振興	2,891,402	
(1) 社会体育費	10,956	社会体育に関する会議、研修会、表彰等を行うほか、県民の生涯を通じたスポーツ活動の実践を図り、県民の参加意欲を喚起するため、青森県民スポーツ・レクリエーション祭を開催する。
(2) 各種体育・スポーツ大会開催費助成	4,592	本県の体育・スポーツの振興を図るため、県内で開催される特定の県大会及び東北・全国大会等の開催経費に対して助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会 3大会 ・東北大会 17大会 ・県内大会 5大会
(3) 体育施設運営管理事業	1,897,581	新総合運動公園、総合運動公園、県営スケート場、県武道館の4施設について、指定管理者による運営・管理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設運営管理費（総合運動公園） 785,646千円 ・体育施設運営管理費（県営スケート場・県武道館） 206,795千円 ・体育施設改修等経費 288,136千円 ・体育施設改修等経費（国スポ関連分） 171,940千円 ・長寿命化推進改修等経費 384,332千円 ・県有体育施設競技用備品整備費 2,035千円 ・県営スケート場備品等撤去事業費 42,428千円 ・スポーツライミング施設整備事業費【新規】 16,269千円
(4) 青森県スポーツ協会補助	50,594	スポーツ振興を図る（公財）青森県スポーツ協会に対して運営費を補助する。 補助金交付先 （公財）青森県スポーツ協会
(5) スポーツ科学センター運営管理費	72,819	スポーツ科学を活用して競技力向上を図るため、青森県スポーツ科学センターの運営を行う。

スポーツ健康課（その４）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(6) 国スポ・東北総スポ派遣事業	119,322	国民スポーツ大会及び東北総合スポーツ大会への本県選手・役員派遣費に対して補助する。 補助金交付先（公財）青森県スポーツ協会
(7) 競技力向上事業	134,649	本県の競技力向上を図るため、選手強化事業に対して補助する。 補助金交付先（公財）青森県スポーツ協会
(8) 県民の健康・スポーツに関する意識調査・分析事業【新規】	3,733	次期「青森県スポーツ推進計画（令和10～14年度）」の検討、今後のスポーツ健康課の取組検討の基礎資料となる県民の健康・スポーツに関する意識調査・結果分析を行う。
(9) 広域スポーツセンター運営事業	3,863	スポーツやレクリエーションを通じた世代間交流の場として、地域の教育力を高めることが期待できる総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援及び啓発を行うとともに、そのノウハウを有した人材（クラブマネージャー）の養成講習会を行う。
(10) 競技力向上対策本部運営費	7,076	本県開催の第80回国民スポーツ大会に向けた総合的・戦略的な各種競技力向上対策の企画・立案を行う。
(11) 競技力向上対策特別事業	540,634	競技力向上を図るため、競技団体や強化拠点校・クラブへの強化活動費の支援、女性アスリートの競技継続支援、指導者の育成、トップレベルコーチの招へい、競技団体間の情報共有の強化、医・科学スタッフによるサポートの強化、雇用奨励金等による選手・指導者の雇用環境充実支援を行う。
(12) スポーツ科学チームサポート事業	5,804	スポーツ科学専門員による科学的分析に基づくトレーニングのサポートを行う。
(13) スポーツ科学センター環境充実事業	39,779	スポーツ科学チームサポート事業の実施に向け、スポーツ科学センターの組織の充実のため、継続してスポーツ科学専門員等を配置する。

8 文化財保護課（その1）

事業名	予算額	事業の概要
1 文化財の保護・保存	千円 231,870	
(1) 文化財の保護体制の充実	3,771	文化財の保護を図るため、国及び県指定の建造物、記念物及び埋蔵文化財包蔵地をパトロールするとともに、県指定候補文化財の現況調査を行う。 ・文化財保護指導員費 2,568千円 ・文化財保護推進事業費 1,203千円
(2) 特別天然記念物カモシカの保護のための調査	7,703	カモシカ保護のため、下北半島保護地域及び北奥羽山系保護地域の生息状況や生息環境の総合的な調査（通常調査及び特別調査）を実施する。
(3) 遺跡分布・範囲確認調査	14,758	開発予定地域で遺跡の所在範囲を確認し、遺跡台帳及び報告書の作成を行い、各種開発事業との調整に対応する資料を整備する。
(4) 文化財の保存・修理等の支援	20,623	県内の文化財の保存・活用を図るため、国及び県指定の文化財修理や史跡整備、発掘調査等を行う事業者に対して助成を行う。 ・無形民俗文化財等保護費補助 138千円 ・文化財修理費補助 16,008千円 ・記念物環境整備費補助 1,371千円 ・指定文化財管理費補助 1,836千円 ・埋蔵文化財緊急発掘調査費補助 1,270千円
(5) 埋蔵文化財の発掘調査及び報告書刊行	185,015	開発事業の対象となる周知の埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、記録保存のため報告書を作成する。
2 伝統芸能・技術の継承（記録で紡ぐ！無形民俗文化財継承推進事業） 【国補正】	47,718	無形民俗文化財の保存と着実な継承を目的に、継承手段として活用できる「誰でもできる記録作成マニュアル」動画を制作・発信するとともに、県民が民俗芸能に幅広く触れる機会を創出するため、こどもも含めた団体が出演する大会を開催し、テレビ等で情報発信する。

文化財保護課（その2）

事業名	予算額	事業の概要						
	千円							
3 文化財の公開・活用及び博物館等施設の機能の充実	744,923							
(1) 埋蔵文化財調査センター収蔵品再整理事業【新規】	6,086	埋蔵文化財調査センターが収蔵している出土品を次世代に確実に継承するため、経年劣化への対応や収蔵状況の改善を行うとともに、展示会や講演会を通して公開・活用する。 (埋蔵文化財調査センター)						
(2) 郷土館運営管理事業	89,356	県立郷土館において、考古、自然、歴史、民俗、産業の各分野に係る調査研究、資料の収集・保存、教育普及などの博物館活動を行う。(郷土館)						
(3) 郷土館基本計画策定事業【新規】	55,265	県立郷土館の整備に際し、必要となる要件等を整理した県立郷土館基本計画を策定する。(郷土館)						
(4) 三内丸山遺跡運営管理事業	292,986	三内丸山遺跡の発掘調査や特別研究、体験学習などの保存・活用事業を実施し、縄文遺跡を代表する三内丸山遺跡の情報発信を行う。(三内丸山遺跡センター) <ul style="list-style-type: none"> ・仮整備費 1,458千円 ・調査研究費 56,542千円 ・運営諸費等 234,986千円 						
(5) 特別展開催事業	19,746	三内丸山遺跡の出土品を展示するほか、他の遺跡の重要文化財などを借用した世界文化遺産登録5周年記念特別展を開催する。 (三内丸山遺跡センター)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">特別展名称（予定）</th> <th style="text-align: center;">開催期間（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北の縄文世界</td> <td>令和8年4月～6月</td> </tr> <tr> <td>北の縄文とアジア</td> <td>令和8年7月～10月</td> </tr> </tbody> </table>	特別展名称（予定）	開催期間（予定）	北の縄文世界	令和8年4月～6月	北の縄文とアジア	令和8年7月～10月
特別展名称（予定）	開催期間（予定）							
北の縄文世界	令和8年4月～6月							
北の縄文とアジア	令和8年7月～10月							
(6) 三内丸山遺跡魅力再発見事業【新規】	22,181	新規来館者やリピーターの増加及び遺跡の保護意識の醸成のため、三内丸山遺跡の価値や魅力を再認識できる新たなイベントを創出するとともに、遺跡保護の担い手確保に向けた取組を実施する。(三内丸山遺跡センター)						

文化財保護課（その3）

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
(7) 三内丸山遺跡施設等整備事業	259,303	<p>三内丸山遺跡の適切な保存と積極的な活用に向けた整備等を行う。（三内丸山遺跡センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三内丸山遺跡史跡整備事業 149,873 千円 ・三内丸山遺跡長寿命化事業 109,430 千円
4 世界文化遺産の保存・活用の推進	165,567	
(1) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業	27,567	<p>世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の関係自治体と共同で設置する包括的保存管理体制により、適切な保存と活用を推進するほか、構成資産を一体として来訪・周遊を促進し、縄文遺跡群の価値や魅力を県内外にPRする。（三内丸山遺跡センター）</p>
(2) 「青森の縄文遺跡群」保存・活用事業	86,081	<p>「青森の縄文遺跡群」の適切な保存・活用を推進していくため、県民への価値の伝達と保護意識を高める普及啓発、関係市町の受入態勢の充実に向けた遺跡施設等の整備に対する支援等を行う。</p> <p>また、「あおり縄文ステーション じょもじょも」において、関係市町と連携し、各構成資産の一体的な情報発信を行う。（三内丸山遺跡センター）</p>
(3) 三内丸山遺跡インバウンド対策事業 【新規】	51,919	<p>三内丸山遺跡を中心とした「青森の縄文遺跡群」へのインバウンド対策として、縄文遺跡群を巡る視察ツアーを実施するとともに、認知度向上に向けた国外プロモーションや受入体制の整備を行う。（三内丸山遺跡センター）</p>

9 高等学校教育改革推進室

事業名	予算額	事業の概要
	千円	
1 県立高等学校教育改革推進事業	33,711	青森県立高等学校教育改革推進計画の着実な推進のため、県立高等学校の魅力発信や全国からの生徒募集等を行うとともに、青森県立高等学校魅力づくり推進計画基本方針に基づき前期実施計画を策定する。
2 ミライへつなぐ遠隔教育推進事業【新規】	10,157	県総合学校教育センターを配信拠点とし、授業支援アプリの導入や外部講師の活用等による補習を実施するなど、県立高等学校における遠隔教育を推進する。
3 高等学校教育改革先導校創出事業【新規】	20,897	高校教育改革を先導する拠点（エッセンシャルワーカー等育成支援、理数系人財育成など）のパイロットケースを創出し、その取組・成果を普及する。
4 高等学校等教育改革促進基金積立金【国補正】	60,000	県立高等学校等における教育改革の促進に係る事業を実施するための基金を造成する。

参考 令和8年度 学校教育指導の方針と重点

1 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2 重点

(1) 授業の充実

一人一人のこどもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、確かな学力を身に付けることができるよう、目指す資質・能力を明確にするとともに、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画等の整備

イ 「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた教材研究の深化

ウ 一人一人の学習の過程や成果の的確な把握と指導の改善につながる評価の工夫

エ 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

オ 学校図書館やICTなどを活用した、こどもの学びを支援する学習環境と学習活動の充実

(2) 道德教育の充実

一人一人のこどもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道德性の育成に努める。

ア 道德教育を推進する指導體制と全体計画の整備・充実

イ 道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実

エ 道德科における学習状況及び道德性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

(3) 特別活動の充実

一人一人のこどもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

ア 自主的、実践的に取り組む学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人のこどもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質・能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ 安全な生活を送る基礎を培い、安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質・能力の育成

(5) 生徒指導の充実

一人一人のこどもが、個性を発見し、自分のよさや可能性を伸ばすことができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調として支えるとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導體制の充実

イ 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導と学年・学級・ホームルーム経営の充実

- ウ 児童生徒理解に基づいた教育相談の充実
- エ 児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応の徹底
- オ 不登校の未然防止及び不登校児童生徒の社会的自立に向けた、個に応じた組織的な支援の充実

(6) キャリア教育の充実

- 一人一人のこどもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。
- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

- 発達障がいを含む障がいのあるこどもなど特別な配慮を必要とするこどもが、障がい等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。
- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- ウ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

(8) 環境教育の推進

- 一人一人のこどもが、環境と人間との関わりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。
- ア 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境に関わる体験活動の充実

(9) 国際化に対応する教育の推進

- 一人一人のこどもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。
- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

- 一人一人のこどもが、情報モラルを含む情報活用能力を身に付けることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。
- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の充実

(11) 研修の充実

- 教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修の充実に努める。
- ア 教員等の資質の向上に関する指標を踏まえた研修の推進
- イ 日常的に学び合い、指導力を高め合う校内研修体制の整備・充実
- ウ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実
- エ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- オ 家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進

参考 令和8年度 社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民一人ひとりが、ウェルビーイング^{※1}の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財^{※2}の育成

- ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援体制の充実
- オ こどもの体験活動の推進

(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

- ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進
- イ 郷土を愛する県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進
- ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の促進

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員等の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※1 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。

※2 人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

参考 令和8年度 体育・健康・スポーツ行政の方針と重点

1 方針

県民一人一人が、生涯にわたり健やかで活力に満ちた生活を送ることができるよう、学校における体育・健康教育の充実、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。

2 重点

(1) 学校における体育・スポーツの充実

児童生徒が、豊かなスポーツライフの実現を目指し、自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、健康の保持増進と体力の向上を図ることができるよう、学校における体育・スポーツの充実に努める。

- ア 教科体育（保健体育）における学習指導の充実
- イ 体力の向上を図る指導の充実
- ウ 体育（保健体育）担当教員等の研修の充実
- エ 運動部活動の充実

(2) 健康教育の充実

児童生徒が、心身ともに健康で安全な生活について理解し実践できるよう、学校、家庭、地域社会の連携を図り、学校保健、学校における食育及び学校安全を総合的に推進し、健康教育の充実に努める。

- ア 学校保健の充実
- イ 学校における食育の充実
- ウ 学校安全の充実
- エ 健康教育担当教員等の研修の充実

(3) スポーツの推進

県民が生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現できるよう、スポーツに親しむ環境づくりと競技力を向上させる環境づくりの充実に努め、スポーツの推進に努める。

- ア 県民のスポーツ参画人口の拡大
- イ スポーツを通じた活力ある社会の実現
- ウ 本県の競技力向上と次世代アスリートの発掘・育成・強化

(4) 第80回国民スポーツ大会を契機とする競技スポーツの振興

国民スポーツ大会に向けた競技力向上を図るとともに、安定した競技水準を維持できるように、本県で開催される第80回国民スポーツ大会を契機とする競技スポーツの振興に努める。

- ア 第80回国民スポーツ大会での天皇杯・皇后杯の獲得に向けた総合的な競技力の向上
- イ 大会終了後の持続可能な競技スポーツの振興

参考 令和8年度 文化財保護行政の方針と重点

1 方針

郷土への愛着と誇りを培い、うるおいと活力のある県民生活を実現するため、次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用に努める。

2 重点

(1) 文化財の保護・保存

かけがえのない文化財を次代に伝えるため、適切に管理し、保護・保存に努める。

- ア 文化財を大切にし、守り伝えようとする意識の啓発
- イ 文化財の調査や記録作成の実施
- ウ 国や県の文化財指定等の推進
- エ 文化財の保存・修理等の支援

(2) 文化財の公開・活用

県民が文化財に興味・関心を持ち、親しめるよう、公開・活用と情報発信に努める。

- ア デジタル技術の活用等による文化財の公開・活用の促進と情報発信
- イ 史跡等の公有化や整備の支援
- ウ 国内外に向けた世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力の発信、認知度向上及び受入態勢の充実

(3) 伝統芸能・技術の継承

地域で生まれ、保存・伝承されてきた伝統芸能や技術の継承に努める。

- ア 伝統芸能・技術の後継者の育成支援と発表機会の充実
- イ こどもの伝統芸能伝承活動の推進

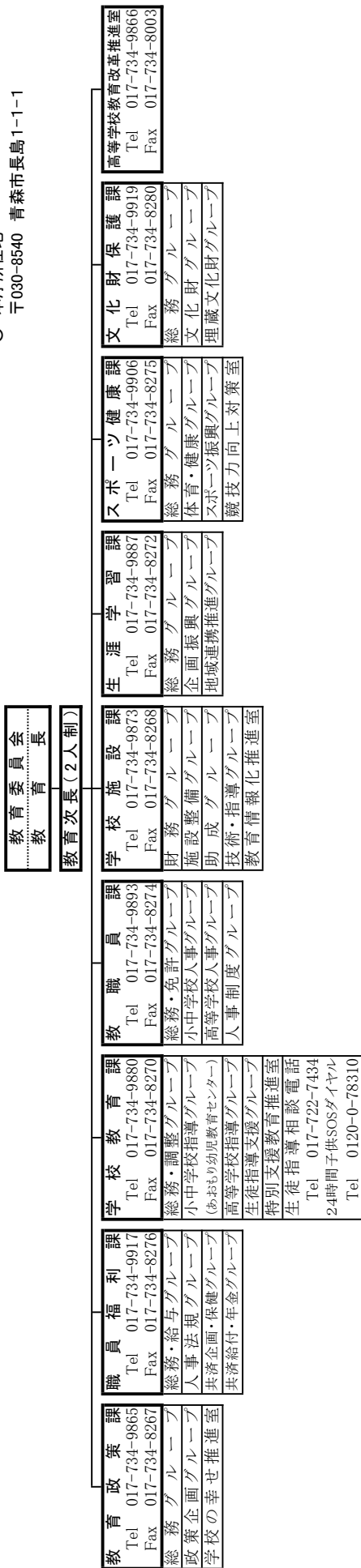
(4) 博物館等施設の機能の充実

多様な主体と連携し、地域の活性化等を考慮しながら、県民が文化財に触れ、体験・体感できる機会の充実と情報発信に努める。

- ア 県立郷土館の資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動の充実と情報発信
- イ 三内丸山遺跡センターの遺跡に関する調査研究、遺跡及び遺跡の出土品の保存、遺跡に関する資料の展示、教育普及活動の充実と情報発信
- ウ 埋蔵文化財調査センターの発掘調査、研究活動、出土品等の保存・活用の充実と情報発信

参考 ○令和8年度 青森県教育委員会機構図

○ 本庁所在地
〒030-8540 青森市長島1-1-1



出先機関

- 東青教育事務所
〒038-0031 青森市三内字丸山198-4
(Tel 017-764-0766 Fax 017-764-6727)
- 西北教育事務所
〒037-0046 五所川原市栄町10
(Tel 0173-35-2170 Fax 0173-33-3663)
- 中南教育事務所
〒036-8345 弘前市蔵主町4
(Tel 0172-32-4451 Fax 0172-36-6584)
- 上北教育事務所
〒039-2593 上北郡七戸町比坂55-1
(Tel 0176-62-2128 Fax 0176-62-2130)
- 下北教育事務所
〒035-0073 むつ市中央1-1-8
(Tel 0175-22-1351 Fax 0175-23-8609)
- 三八教育事務所
〒039-1101 八戸市尻内町字鴨田7
(Tel 0178-27-4521 Fax 0178-27-2847)
- 埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森市新城市天田内152-15
(Tel 017-788-5701 Fax 017-788-5702)

教育機関等

- 図書館
〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7
(Tel 017-739-4211 Fax 017-739-8353)
- 梵珠少年自然の家
〒037-0611 五所川原市神山字殊ノ峰117-602
(Tel 0173-29-3303 Fax 0173-29-3306)
- 種差少年自然の家
〒031-0841 八戸市鞍町字膳並平2-26
(Tel 0178-38-2131 Fax 0178-38-2727)
- 総合社会教育センター
〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7
(Tel 017-739-1252 Fax 017-739-1279)
「すこやか・ほっとライオン」(017-739-0101)
- 総合学校教育センター
〒030-0123 青森市大矢沢字野田80-2
(Tel 017-764-1997 Fax 017-728-6351)
教育相談電話
このころの教育相談センター(適応指導教室)
(Tel 017-728-5575 Fax 017-764-1989)
- 郷土館
〒030-0802 青森市本町2-8-14
(Tel 017-777-1585 Fax 017-777-1588)
- 三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森市三内字丸山305
(Tel 017-781-6078 Fax 017-781-6103)

県営体育施設

- 新総合運動公園
マエダアリーナ
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2
(Tel 017-737-0600 Fax 017-726-3691)
- カクヒログループアスレチックスタジアム
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2
(Tel 017-752-0641 Fax 017-726-3691)
- スポーツ科学センター
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2
(Tel 017-737-0607 Fax 017-737-0603)
- 総合運動公園
〒038-0021 青森市安田字近野234-7
(Tel 017-766-1241 Fax 017-766-1243)
- 盛運輸アリーナ
〒030-0843 青森市浜田字豊田地内
(Tel 017-739-9500 Fax 017-739-9507)
- 武道館
〒036-8101 弘前市豊田2-3
(弘前市運動公園内)
(Tel 0172-26-2200 Fax 0172-26-2206)